

スポーツ たちかわ

NPO法人
立川市体育協会

〒190-0015 立川市泉町786-11
立川市泉市民体育館内
TEL・FAX 534-1483

発行責任者 河内 勝正
編集責任者 木戸口 辰雄

e-mail t-taikyo@amber.plala.or.jp

努力・夢・チャレンジ

立川の若人、夢をつかみ感動を共にみらいに向かって輝け!!

新型インフルエンザ対策はおとなりさんが声をかけ



年頭にあたって

特定非営利活動法人
立川市体育協会
会長 河内勝正

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様には健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から当会の活動に深いご理解とご協力を賜り心から感謝とお礼を申し上げます。

第63回市民体育大会も皆様のご協力のもと、いよいよ終盤となつてまいりました。大会史上初めて新型インフルエンザのため町民運動会が4町会で中止せざるを得ない結果となりましたことは誠に残念なことではござい

ました。

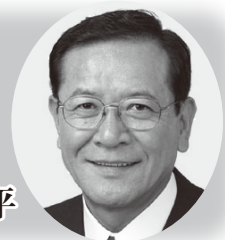
一方、第43回東京都市町村総合体育大会において、総合第3位と3年連続(平成19年度第3位・平成20年度準優勝)で上位入賞を果たすことが出来ました。

これも偏に、皆様のご支援と市民体育大会、ジュニア育成推進事業等での日々の努力が結果として現れたものと感謝しております。

加藤42団体を擁する大きな組織体となった当会も社会的信用を高め活動の分野を広めていくために、任意団体から法人化への道を模

新年のご挨拶

立川市長
清水庄平



明けましておめでとうございます。

貴会会員の皆様には、日頃から本市の体育行政に深いご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

本年は、バンクーバーオリンピックやサッカーのワールドカップ南アフリカ大会などの大きなスポーツイベントが開催されます。日本人選手の活躍に期待を寄せるとともに、世界の一流選手がく

く国民がわくわくと心待ちにしております。

このように、スポーツに対する人々の関心は年々高くなっております。

多くの人が様々なスポーツに親しむことにより、体力増進と健康づくりを図りながら交流を深め、仲間づくりをすることは、健康でいきいきとした生活を送る上で非常に大切なことでもあります。

市といたしましては、市民の皆様が生涯にわたってスポーツに親しみ、楽しみながら健康づくり

に励み、一人ひとりが生きがいを持ち、充実して人生が送れるよう支援していきたいと考えております。そのためには、日頃より、市内の各地域で体育振興にご尽力いただいている、貴会のご協力は欠かせないものであり、今後とも、貴会会員の皆様

のより一層のご支援を切にお願いする次第であります。

結びに本年も貴会の皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、私の新年の挨拶といたします。

索し、昨年3月17日に特定非営利活動法人(NPO法人)として新たな一歩を踏み出しました。

今後は、法人としてスポーツを通じて安全・安心な街づくりに更なる努力をしていく所存でございますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭のご挨拶といたします。



NPO法人設立記念祝賀会

平成21年11月14日(土)
会 場：パレスホテル立川

市民が健康で文化的な生活を過ごすためには、少子高齢化社会が進む中、市民一人一人が健康で健全な肉体と精神面で充実した日々を過ごすには地域の体育会と競技団体が支えていかなければ成りません。スポーツの振興にはさらなる努力が寛容で講習会などを行いながら指導者の育成に努め尚新しいスポーツイベントを取り入れて競技人口の増加をはかりながら成果を上げ、又、体育関連施設の改善と充実が求められています。

NPO法人として立川市体育協会が市民のために



(立川市清水庄平市長)

何が出来るか一步一步、計画と実績を積み重ねて運営をしていくことで社会的信用を得て認知されることが求められる。

祝う会には関係者はもとより、清水庄平立川市長始め、国会議員、都議会議員、市議会議員、東京都市町村体育協会連合会から、各体育協会会長方のご出席を賜りました。ご挨拶の中で、各市体育協会もNPO法人運営の難しさも比的されていました。暖かい激励の言葉の中、どう乗り越えていくか期待を寄せるご祝辞を賜りました。

式典に合わせ、NPO法人設立並びに永年体育協会においてご尽力いただいた方々へ会長から感謝状の贈呈がなされました。

祝賀会に寄せて

会長 河内 勝正

お忙しい中、NPO法人認証祝賀会に多くのご来賓を始め会員の皆様にご臨席を賜り、盛大な会を催す事が出来たことを厚くお礼を申し上げます。

「明るい町作り、青少年の健全育成、市民相互の融和」をコンセプトに3団体で発足した当会は現在12地区体育会・30競技団体で計42団体を要する組織となり、年間の市民参加人員も延10万人を超えております。

大きな組織体となった当会のさらなる発展は他の団体の例を見るまでもなく、安定した資金力と組織強化が必要と、任意団体から法人化への道を模索、NPO法人として昨年3月に新たな一歩を踏み出しました。

これもひとえに、日ごろから皆様のご厚情の賜と存じ、衷心より深甚の感謝を申し上げます。今後は、行政と、共に歩んできました

62年の実績をふまえ、当市特有の各町会をベースとした地区体育会と競技団体等を更に有効的に融和させることで、市民による市民のためのスポーツ振興に努力をしていく所存でございますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。





立川市野球協会

第1回審判講習会を12月6日(日)多摩川緑地運動場において開催しました。協賛として財団法人東京都軟式野球連盟より講師に専務理事 牧野勝行氏、審判技術指導員 遠藤安彦氏、倉橋成生氏にお願いをして、少年、シニア、早朝、軟連、ポニーと5団体の監督、コーチなど指導者が約60名あまり参加して、清水会長の激励の挨拶と講師の紹介、協力チーム紹介の後、9時よりストレッチ体操から濃密で高度な指導を受ける中、参加者からもボールを見る位置、確実なジャッジの見やすい位置などと質



問が投げかけられ休憩を入れながらも予定時間を大幅に延長して午後2時30分に質疑応答を最後に講師の方に謝辞を申し上げ閉講式、これからも2回3回と開催できることを願っています。

競技団体紹介

ソフトボール連盟

戸所 辰雄

当連盟は再発足して29年目を迎えました。

加盟チームは、減少していますが現在男子15チーム、女子4チームが常時活動しています。女子のチームが近隣に比べ多いようです。男子チームは高齢化がやはり目立つこの頃です。

皆様ご存知のように女子ソフトがオリンピック種目からはずれ非常に残念に思っております。

大会は春、秋の男女の大会、壮年大会、女子ジョイフルスローピッチ大会、スポレク、市民大会(対抗)等を開催しております。

市民大会女子の部ではジョイフルスローピッチルールにて行っています。柔らかいボールで投球も山なりのため初めての人にも安全に楽しめるという事で大変好評をいただいております。

グラウンド数の不足があり練習会場、試合等到大変苦労しているのが現状です。東京都の大会も積極的に主管しています。スポーツフェスティバル東京大会は第1回目から主管して14回続けており立川の運営は好評を得ています。過

第63回

市民体育大会

地区対抗種目得点表

種目	地区名	富士見町体育会	柴崎町体育会	錦町体育会	曙町体育会	高松町体育会	羽衣町体育会	砂川体育会	栄町体育会	若葉町体育会	西砂川体育会	幸町体育会	柏町体育会
軟式野球		3.0	11.0	5.5	3.0	5.5	8.0	3.0	10.0	5.5	5.5	9.0	3.0
ミニテニス		9.0	3.0	10.0	4.0	3.0	5.0	3.0	7.0	11.0	8.0	6.0	3.0
ソフトボール	男子	3.0	3.0	8.0	10.0	3.0	5.5	3.0	11.0	5.5	9.0	5.5	5.5
	女子	3.0	5.5	3.0	3.0	5.5	9.0	—	5.5	11.0	—	8.0	10.0
水泳	男子	8.0	3.0	10.0	7.0	3.0	4.0	11.0	3.0	3.0	6.0	9.0	5.0
	女子	3.0	3.0	10.0	4.0	6.0	3.0	11.0	3.0	8.0	7.0	9.0	5.0
ゲートボール		10.0	4.0	3.0	11.0	3.0	3.0	7.0	5.0	3.0	6.0	9.0	8.0
陸上競技	男子	4.0	8.0	9.0	3.0	3.0	10.0	5.0	3.0	11.0	3.0	6.0	7.0
	女子	9.0	4.0	10.0	3.0	5.0	8.0	3.0	3.0	11.0	3.0	7.0	6.0
バレーボール	男子	9.0	3.0	11.0	3.0	5.5	5.5	10.0	8.0	5.5	5.5	3.0	3.0
	女子	10.0	8.0	11.0	—	5.5	3.0	3.0	9.0	5.5	5.5	5.5	3.0
テニス		7.0	3.0	5.0	3.0	3.0	4.0	3.0	9.0	10.0	8.0	11.0	6.0
卓球		5.0	3.0	9.0	3.0	6.0	7.0	11.0	8.0	4.0	10.0	3.0	3.0
バドミントン	男子	3.0	3.0	7.0	3.0	6.0	4.0	8.0	10.0	9.0	—	11.0	5.0
	女子	10.0	3.0	8.0	6.0	5.0	9.0	7.0	4.0	3.0	3.0	11.0	3.0
駅伝													
合計得点		96.0	67.5	119.5	66.0	68.0	88.0	88.0	98.5	106.0	79.5	113.0	75.5
順位													



去には関東シニア大会、関東ハイシニア大会も主管しました。審判部は年数回の研修がありますが出席し技能の向上に努めています。ジョイフルスローピッチのルールについては女子全チームを集め審判部により講習会を設け普及に努めました。しかし、審判員の不足は大きな悩みとなっています。審判に興味のある方がおりましたらご連絡いただければと思います。今後の課題として小・中学生がソフトボールに興味を持ってくれるような活動が必要かと考えています。

平成21年度ジュニア実技講習会、平成25年東京国体をめざして

平成21年7月31日(金) 10時より、泉市民体育館第一体育室において、平成21年度ジュニア育成地域推進事業として、新体操ジュニア実技講習会を行いました。

参加人数は306名。(小学生225名、中学生80名、高校生1名) 市体育協会が主催する新体操の講習会は、あまり行なわれておらず、市外からも多くの参加者がありました。指導は、津城由美子さん、佐藤昌子さん、川野真紀さん、浦谷郁子さんをお願いしました。世界大会経験者である指導者を講師に、参加者を4グループに分け、基礎運動・バレエ・手具操作・コーディネーションをローテーションしながら、次の行程で行い



講習会の意義を伝え、2講習項目を行う。12:00より昼休憩、13:00より残りの2講習項目を行い、閉校式をもって終了する。(15:00)

暑さ対策のため扇風機をレンタルで用意しましたが、それでもサウナのような暑さと熱気の中、参加した子どもたちは、高い技術をもつ指導者から、真剣に指導を受け、競技に対する意欲を高めている様子でした。

また、個別の講習項目を集中して行うことで、個々の選手の得意・不得意を発見することができ、



今後の練習の参考になり、それぞれの課題として持ち帰りました。

ジュニア育成推進事業として助成を受けることによって、新体操競技に欠かせない新体操専用のマットをレンタルすることができました。通常の練習では、なかなか専用マットは使えませんが、運営者として、講習の環境をよりよく整えることができ、怪我もなく終了できましたことに、関係者の皆様に感謝申し上げます。

東京都内の子どもたちが、同一の講習を受けることによって、東京の団体としての仲間意識をもつこともできました。

この講習会で学んだことを活かして、平成25年東京国体の選手が生まれることを願っています。



その結果が泳ぎの形がさらに向上したことで、スピードにつながり、さらなる技術向上につながる結果になりました。

新体操連盟 副会長
坂下 香澄

平成21年度ジュニアスポーツ 育成地域推進事業

本連盟は、平成21年4月から、正式に体育協会に加盟させていただき、平成25年の東京国体に向け活動しております。

自転車競技は一般道を使って実施するロード競技と、競輪場を使って実施するトラック競技に分かれますが、各競技ともに、奥多摩周遊道路や立川競輪場といった、実際に東京国体で使用する場所強化練習会や市民大会を行うことができました。特に8月に行われた市民大会では、小学生も参加し、自転車競技の普



及を実感することとなりました。

今年度は講師に元オリンピック選手の大宮志志氏を招き、きめ細かい指導の下、地元昭相第一学園高校を中心とした高校生が全国大会で入賞することができました。平成25年の東京国体では、この立川市から決勝に出場する選手を多数輩出できるよう、次年度以降もジュニアの発掘、強化にますます力を注いでいきたいと思います。

平成21年度自転車競技ジュニア育成地域推進事業の報告

立川市自転車競技連盟

反射機能・反射神経を発達させて表現力のあるバスケットボールを

岩崎 有美



立川市バスケットボール協会は、平成21年度ジュニア育成地域推進事業として、バスケットボールクリニックおよび交流試合を開催しました。

クリニックは12月13日、第八中体育館で、初参加の立川国際中を含む市内10中学校から男女約120人が参加して行われました。

指導は元プロバスケットボール選手の外山英明氏です。外山氏は柴崎体育館落成記念に開催されたバスケットボール日本リーグ立川大会(1993年)に熊谷組から出場、市民投票でMVPに選ばれました。また、中学の関東大会で第八中と対戦したことがあるなど、立川と縁のある選手です。

練習は、ボールハンドリングやコーディネーションドリブル、ターンなど基礎基本に集中しました。外山氏は「いろいろな動きを取り入れて反射機能・神経が発達すれば、どんなことでも出来るようになる。バスケットは言われたことをすぐに表現できる『表現力』が大切」と力説しました。

講師で上田智公先生(第六中)は「基礎基本の練習でも、今は何をすべきか、何に注意すべきかを意識して練習に取り組もう」とあいさつ。

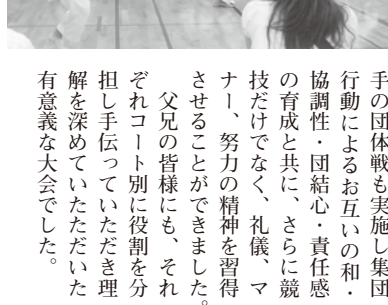
昨年、都大会に出場した第八中のキャプテン川俣賢一君(2年)は「バス練習やガードポジションの取り方など、とても参考になりました」と話し、「絶対、関東大会に出場します!」と決意を新たにしていました。

交流試合は9月21日、柴崎体育館で「立川市中学生選抜招待バスケットボール大会」を開催。男女210人が参加し、6市による対抗交流戦を行いました。熱戦の末、男女ともに立川市選抜チームが見事、優勝に輝きました。

立川市空手道連盟ジュニアスポーツ大会

平成21年8月9日(日) 立川市柴崎市民体育館にて東京都ジュニア地域育成事業として立川市空手道連盟主管第3回ジュニアスポーツ大会を選手・役員・父兄を含め245名出席して開催いたしました。

多摩国体で空手道選手権大会がお隣の日野市で開催されることもあり、一流の専門指導者による集中レッスンにも熱が



入りの技術力、競技力のレベルアップを図り、厳しい中にも空手の楽しさも教えることができました。

特に今回は各学年別、形・組手の団体戦も実施し集団行動によるお互いの和・協調性・団結心・責任感の育成と共に、さらに競技だけでなく、礼儀、マナー、努力の精神を習得させることができました。

父兄の皆様にも、それぞれコート別に役割を分担し手伝っていただき理解を深めていただいた有意義な大会でした。



合宿での目的は、子供達それぞれに目標を持たせ、達成させられるよう指導者としても練習計画を立てます。目標タイムを切る、苦手種目を克服する、子供によってそれぞれだが、日ごろの練習では見られない成果に遭遇出来る合宿だと思います。

立川市空手道連盟ジュニアスポーツ大会

理事 市川 恵久

今年度も、中学生3年生から1年生総勢46名参加で、7月31日から8月2日まで二泊三日で福島県白河市泉崎球場をメイン会場に、3年生はバッティングを中心に守備はポジション別に個人ノックをおこなった。2年生については、外野と内野を区別しポジションは固定せずノックの中で、内野は連携、外野はカバーを重視した練習を行った。1年生については、まだ体力が不足のため、朝5時起床で宿舍の周りをマラソン(1500m位)後朝食の準備を行い、練習はポジションを限定せず内野外野や交代で、キャッチボール、ボールの握りの確認、ステップの確認、グローブの使い方等を行った。また、夜は、各学年別に3年生は、高校野球について、



高校野球、大学野球の経験者による、野球への取り組み方や今後の進路の決め方について、2年生は、今中学生としてやらねばならない、練習についてと野球理論について、1年生は、夕食の準備、集団生活での礼儀、中学生野球での心構え、小学生時代との違い等についてそれぞれミーティングを行った。

特に1年生は、基礎体力が例年低下しているため、体力づくり中心の練習になった。

今年度も短い日程ではあったが、天候にも恵まれ、充実した練習が行えたと思う。

この合宿において、何かを感じ今後の練習等に、生かしてもらい、活躍してくれることを願っています。



陸上競技教室の開催は、4月から6月の3ヶ月間、毎週日曜日の午前10時から12時までの2時間、立川公園陸上競技場で行いました。

対象は、小学4年生から中学生です。毎回、平均30名位の参加者でした。内容は、体力づくりと走り方の基本を重点的に行ないました。

その結果、体力の向上と走りの技術を習得できたと思います。

記録会開催は、10月25日(日)小学生・中学生に加え今年は、高校生・一般も募集し、350余名の申し込みがありました。

当日は冷たい雨の天候でしたが、都立北多摩高等学校陸上部・昭相第一学園高等学校陸上部及びエリートRクラブの選手も出場しました。

悪コンディションにもかかわらず自己記録を更新した小学生・中学生の選手もいました。

これからも継続していくことが大切ですので、来年も、陸上競技教室と記録会を実施する予定です。



平成21年度立川市少年軟式野球夏強化合宿

立川市少年軟式野球連盟 鶴 潤 弘之

東京都ジュニア育成地域推進事業 陸上競技教室と記録会

立川市陸上競技協会 飯塚 智子

21年度ジュニア水泳選手育成合宿

坂西美佐子

ここ数年夏の合宿から秋の合宿に時期を変えたことによって、炎天下での練習は体力の消耗が早く、また日焼け対策なども考えた上での計画をたてなければならなかった。

しかし室内プールは水温が一定に保たれ、体が小さい子供らも、長い練習時間に耐えられ、有意義に3日間を過ごすことが出来るようになったと思います。

また一人でおこなうスポーツだからこその、合宿など仲間と泳ぎの形がさらに向上したことで、スピードにつながり、さらなる技術向上につながる結果になりました。

トピックス

第2回

スポーツゲームズin立川 & 東京ヴェルディ

平成21年11月7日(土)

会場：泉市民体育館・泉町野球場



参加したトップアスリート

●サッカー

小川 章

(元読売クラブ、元東京ヴェルディ普及育成チーフコーチ)

●バレーボール

佐々木 太一

(元バレーボール日本代表、アジア大会優勝)

●フラッグフット

安部 奈知

(元アメリカンフットボール日本代表)

●バスケットボール

参河 紀久子

(元バスケットボール日本代表、アトランタ五輪出場)

●ハンドボール

ネメシュ ローランド

(ハンドボールU22日本代表コーチ)

●卓球

渡辺 武弘

(元卓球日本代表、ソウル・バルセロナ五輪出場)

●MIP親子コーディネー

平井 博史

(中部学院大学准教授、
幼年体育学園学長)

●ジュニア期の傷害の評価と リハビリテーションセミナー

元橋 智彦

(ダイナミックスポーツ医学研究所次長トレーナー)



昨年引き続き、NPO法人MIPスポーツプロジェクトと東京ヴェルディ主催、NPO法人立川市体育協会後援により、今年も「スポーツゲームズin立川 & 東京ヴェルディ」を11月7日(土)に開催しました。昨年は柴崎市民体育館や陸上競技場等を使用しましたが、今回は泉市民体育館と泉町球場を会場として使用しました。

このイベントのメインである「チャレンジスポーツラリー」には、バレーボール、バスケットボール、ハンドボール、卓球、サッカー、フラッグフットの6種目を体験でき、それらに参加がありました。希望種目とあわせて3種目を体験でき、それもトップアスリートから直接指導を受けることに子どもたちの目は真剣でした。

またその他に、「親子コーディネー」にはお父さんの参加や、「セミナー」には保護者の方や競技指導者の方の参加がありにぎやかに開催することができました。

昨年にも増して、体育協会の皆様には、多大なるご支援ご協力を賜りたいへんありがとうございました。

スポーツ振興係 前村

東京2009

アジアユースパラゲームズ

国立オリンピック記念
青少年総合センター

9月13日(日)

ボッチャ競技

東京団体 第三位

渡辺 健太
(立川市第一中学校3年)



平成21年度 全国中学校体育大会

第49回 全国中学校水泳競技大会

福岡県総合プール 8月

男子100m自由形 決勝

優勝 (タイム) 53.21



和田 真
立川市第三中学校
3年



(立川市長 表敬訪問)

トピックス

空手道連盟

広瀬まりさん

広瀬まりさん成績

平成20年12月 全日本空手道選手権大会 団体戦 優勝、個人戦 5位
 平成21年8月22日 千葉県 関東空手道選手権大会 成年女子個人組手 優勝
 平成21年8月22日 “ 団体女子組手 優勝
 平成21年10月 新潟国体 組手出場
 平成21年11月 カデット世界大会 組手出場



空手を始めたきっかけは、父が先生であり、兄が習っていて、自分も空手がやりたいと思ったのがきっかけだった。

立川市の大会で入賞したり、勝てば賞状がもらえるうれしさから強くなりたいと日々正武館道場へ通っていた。大きくなるにつれその思いは強くなり、全日本大会へ出て日本一をとりたいと思い始めた。

高校は光明学園に行き、道場でやってきたことが土台となり高校一年生で小さい頃からの夢であった全日本大会に出場し、ベスト8になることが出来ました。

今年は、国体や世界大会にも出場出来ましたが思うような結果は残せませんでした。

自分にとってよい経験ができ次に生かせるように努力していききたいと思います。

●山口 祐汰 (小学6年生)

平成21年度 東京都小学生空手道選手権大会

場所 東京武道館 日時 平成21年5月31日

小6の部 男子(形競技) 優勝

平成21年度
全国少年少女空手道
選手権大会

8月8日(土)

小6の部 男子形競技
ベスト16位

●全国中学生空手道選手権大会

場所 北九州市立総合体育館

日時 21年8月29日(土)・30日(日)

中学生団体形 第3位

立川市立五中として出場

(正武館空手道場の生徒)

小学1年生より空手道を始め、今年の夏休みは大会目標に猛練習に励む

左より 清水拓巨、小嶋春輝、
河野翔一、森本駿平君の4名

●萩原凛太郎 (小学6年生)

平成21年度 東京都小学生空手道選手権大会

場所 東京武道館 日時 21年5月31日

小6の部 男子組手 優勝

平成21年度 全国少年少女空手道選手権大会

場所 東京武道館 日時 21年8月9日(日)

小6の部 男子組手 5位

●全国少年武道錬成大会
(空手道大会)

場所 日本武道館 日時 21年8月1日

小学生低学年の部 団体形競技 コート2位
組手2回戦敗退 総合ベスト8

※左より加賀美駿斗、森村 颯、内野 希



平成二二年度賛助会員募集 たちかわのスポーツ振興にご協力を
 個人会員 一口 一、〇〇〇円 何口でも可
 団体会員 一口 五、〇〇〇円 “
 振込口座 多摩信用金庫幸町支店/普通預金 0131672
 特定非営利活動法人立川市体育協会(トクヒ)タチカワシタイクキョウカイ

皆様からの協賛金は、立川市の「明日のスポーツ界を担う青少年の健全育成と中高年齢者の健康増進・コミュニティ」に役立てます。
 記
 NPO法人 立川市体育協会

NPO法人立川市体育協会

加盟団体

〈地区体育会会長〉

**より便利に
より安心に!!**
保険内容を
改定しました

スポーツ安全保険

対象となる事故 団体活動中の事故／往復中の事故

保 険 期 間 平成21年4月1日午前0時より平成22年3月31日午後12時まで（申込受付は平成21年3月から）

加入区分・掛金・補償金額（団体活動を行う5名以上の方々の、加入区分をそれぞれお選び頂いてご加入ください。）

5+
5名以上の団体
ご加入ください

加入対象者		補償対象となる団体活動等	加入 区分	年間掛金 (一人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 てん補限度額 (死亡金額なし)	共済見舞金
					死 亡	後遺障害 (級 別)	入 院 (1 日 当 り)	通 院 (1 日 当 り)		
子ども (中学生以下 特別支援学校 高等部の 生徒を含む。)	団体活動全般 (スポーツ・文化・ボランティア・地域活動など)	A1	600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 180万円	
	団体活動全般	AW	1,150円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億500万円 ただし、身体賠償は 1人 1億500万円		
	上記以外 (個人活動・個人練習など)			100万円	150万円	1,000円	500円	身体・財物賠償 合算 1事故 500万円	対象と なりません	
大人	文化・ボランティア・地域活動 団体員の送迎、応援、準備、片付け	A2	600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は1人 1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 180万円	
	スポーツ活動 スポーツ活動の指導	C	1,600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円			
	子どものスポーツ活動の指導限定 ※C区分でも加入可	AC	1,100円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円			
	65歳 以上	B	800円	600万円	900万円	1,800円	1,000円			
全年齢		危険度の高いスポーツ活動	D	9,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

※同一団体で1口しか加入できません。中途加入する場合、中途脱退する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入れ替え、加入区分の変更はできません。

※掛金には(財)スポーツ安全協会で運営する「共済見舞金制度」の掛金、1人20円が含まれています。

※危険度の高いスポーツ活動はD区分以外では補償されません。

インターネットからの加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。

Web スポーツ安全協会 検索

士財 国 人 スポーツ安全協会 東京都支部
(東京都体育協会内)

〒150-8050 渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内 TEL 03-3481-2423 番括受付時間 午前10時～午後5時(土、日、祝日を除く)